

FA (フリーアクセス対応) タイプの施工方法

施工の前に

■ 下地の点検

■ 割り付け 墨出し

■ 材料保管

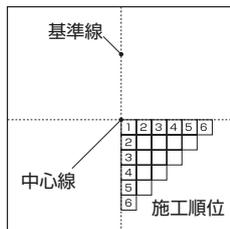
■ 材料確認

■ 養生

- ①平滑さ、②乾燥、③強度、④汚れを点検します。
- 施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。
- 材料保管の善し悪しによって仕上がり状態が左右されます。
 - ①乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
 - ②室内温度10～25℃、湿度75%以下での保管が最適です。
- 品番・ロット番号・数量を確認し、同一場所に他のロットのものが混在しないようにしてください。
- 10℃以上に保たれた室内の平滑な場所でタイルを箱から取り出して、表面を上にして1～2日程度積み重ね、クセを取り除いてください。特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。

施工手順

- ① 施工する部屋の中心を基準にして、直角に交わるタテ、ヨコの基準線を墨出し、部屋を4区分します。出入り口、廊下、壁面などには極端に小さなカットが入らないように、中心点を調整して割り付けてください。
- ② 基準線に沿って基準タイルを施工します。
- ③ 施工はピラミッド工法のようにすすめてください。



- ④ 製品によって流し貼り又は市松貼りにて貼ってください。
- ⑤ 同一場所は同ロットの製品で施工してください。施工前に必ず品番、ロット番号、数量を確認してください。
- ⑥ 目違い修正は、圧着する前に修正してください。
- ⑦ 接着剤が硬化するまでは、冷暖房による急激な温度変化や直射日光は避けてください。
- ⑧ 壁際などの端部は、隙、浮きのないように納まりよくカットし、ハンドローラー等で入念に圧着してください。圧着不足は接着不良につながり、後日突き上げ、剥離などを引き起こす原因になります。
- ⑨ 接着剤は、ピールアップ接着剤(アクリル樹脂系エマルジョン形)をご使用ください。

⚠ 注意

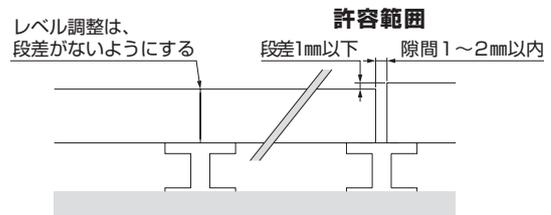
目地ズレが発生した場合は、ズレが大きくなる前にタイルをカットし、目地調整をしてください。

[接着剤: AB-700P]



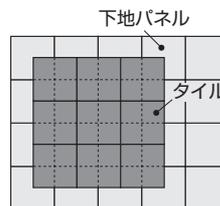
二重床 (OA下地) に施工する場合の注意点

下地パネルの段差は1mm以内、隙間は1～2mm以内になるよう、レベル調整を正確に行ってください。

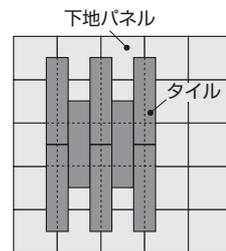


- 15℃以上の室温になじませてから施工してください。タイルと室温に温度差があると施工後突き上げ、目地隙を引き起こす原因になります。
- 室温が15℃以下の場合は、タイルとタイルの間に名刺2枚分の隙間を空けて施工してください。
- タイルのつめすぎは、施工後突き上げの原因になります。
- パネルの目地をまたぐ様に施工します。パネルの目地とタイルの目地が重ならない様タイルをカットし、目地を調整してください。

正方形タイプ



長方形タイプ



⚠ 注意

下地パネルとタイルの端を揃えて貼ると、目地スキ段差が発生しますのでご注意ください。